



このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数 200 文字以内。写真は、1 枚につき 50 文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、伊佐PR課までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎4113
✉koho@city.isa.lg.jp



毎朝、元気に登校する娘が犬に追いかけられるというアクシデントに見舞われた。娘は数百メートル市役所裏まで逃げたようだが、追いつかれて嘔まれてしまいました。その時、娘の窮地を救ってくれた男性がいたらしく御礼を伝えたくて投稿しました。「心から感謝します。娘からの言葉です。」「たすけてくれた人へー11月11日水曜日の朝、小学校のとうこう中、犬においかけていているところをたすけてくださってありがとうございました。」

(大口 まなちゃん 30代)

隊列を組み約100台のバイクが曾木の滝をめざした。バイクハウス主催の記念ツリーリングで、磨きあげられたハーレーのほかにイタリア車のランボルギーニなど集結。互いに愛車自慢と撮影会を行い抽選会などのイベントが行われた。会場となった伊佐市の忠元公園が台風で桜倒木の被害を受け

「まなちゃん」さん、娘さんのこと心配しましたね。助けてくれた人に御礼の言葉が届きますように。



今年も愛情込めて作った干し柿を贈ります。「南三陸町の皆さん、干し柿食べて元気に過ごしてね。」
(羽月西小児童)

たことを知り、「桜島チャプター」のメンバーらが「いさ花募金」に寄附金を贈った見かけで判断しちやいけな、中身は紳士で熱い人ばかりだ。
(羽月 バイク好き 50代)



人口のうごき (住民基本台帳から)

H27.11.1 現在 (前月比)

総人口	27,652 人	(- 17)
男	12,789 人	(- 3)
女	14,863 人	(- 14)
世帯数	13,856 世帯	(- 18)



編集後記

「いさ演劇祭」では榎木孝明氏の講演と2つの演劇がありました。「紙屋悦子の青春」では小学生から高校生の十代を中心としたメンバーが出演。初々しくハツラツとした演技で「いさ演劇祭」の幕があがりました。もう一つは、伊佐を題材にした創作劇で、特産品や建物が「かぶりモノ」のキャラクターで登場。伊佐農林高校名物「更生之素」のカンヅメをかぶった主人公が、身近にあったけど深くは知らなかった、そのモノの成り立ちを旅して探す物語。「ふれセンって列車の形なのかあ」「カントリーエレベーターって県内で伊佐だけなんだあ」と新しい発見もあって、地元民の心をくすぐる細かな演出が最後まで飽きさせることなく素晴らしい舞台でした。2つの劇の驚くべきは、出演者のほとんどが初挑戦の市民劇団員ということ。「人前で演じるなんて恥ずかしいだろうな」と思っていたのは最初の1秒だけで、気迫に満ち堂々とした姿に鳥肌が立ちました。これまでの苦勞や不安、稽古を重ねるたび上達する自分、すべてが感動だったんだろうな。本番では快感さえ覚えていたように見えました。これで解散かーもったいない、私も「黒(豚)の軍団」に入れる素質はあったのに「もったいない」。